

目指せ！未来のサイエンティスト

平成29年度

千葉県未来の科学者育成プログラム

募 集 案 内



主 催
千葉県教育委員会

平成29年度 千葉市未来の科学者育成プログラム 募集案内

1 趣旨

科学に高い興味・関心をもつ中学生・高校生に対し、その能力を伸ばすために質の高い学習プログラムを提供し、個人研究を支援したり、千葉市内の大学等研究機関や企業などが有する先端科学技術を体験させたりすることにより、未来の科学者をめざす意欲を高める。

2 対象

市内在住・在学の中学1年生～高校生3年生（※コースによって対象学年は異なります。）

各コースの必修の講座に、毎回参加する意欲がある者

〈応募される場合、ご確認していただきたいこと〉

- ・受講生全員に、受講終了までに個人研究の成果報告書を提出してもらいます。また、最後の成果発表会では口頭発表を行います。
- ・パソコンでワープロソフト等の添付ファイルを送受信できるインターネット環境が家庭にあることが望ましい。

3 コース・募集定員

全体募集定員 55～65名

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 探究支援コース | 10名程度（中学1・2・3年対象） |
| (2) 市立千葉高校SSHコース | 15名程度（中学1・2・3年対象） |
| (3) 千葉大学連携コース | 15名程度（中学2年～高校3年） |
| (4) 生命・医療系コース | 15名程度（中学2年～高校3年） |

※特別受講生制度：過去に本プログラムに参加した元受講生が、本年度実施の講座の中から指定された講座に参加することができる制度。参加の希望がある場合は、5月13日（金）までに生涯学習振興課へ連絡してください。

4 実施期間

平成29年6月17日（土）～平成30年1月20日（土）

5 参加費

参加費は無料です。ただし、会場までの交通費は自己負担となります。また、講座の内容により、個人にかかる材料費を徴収する場合があります。（500円以内を予定）

6 申込方法

(1) 提出書類 以下の①～③の用紙を「千葉市未来の科学者育成プログラム」ホームページから印刷することができます。必要事項をご記入の上、提出してください。

- ①応募用紙
 - ・受講したいコースの希望順を番号でご記入ください。
 - ・保護者の方は、応募用紙の内容をご確認の上、ご記名・捺印（保護者の自署の場合は、捺印を省略できます）をお願いします。
- ②回答票
 - ・所定の用紙の「回答1」および「回答2」についてご記入ください。
- ③出席予定表
 - ・第1希望のコースの講座についてのみ、応募時点での出欠席の予定を記入してください。

(2) 応募方法

(1) の3種類の書類①②③に必要事項を記入し、生涯学習振興課まで持参するか、郵送にてご提出ください。

7 応募期間

平成29年4月15日（土）～5月16日（火）必着

※ただし、5月16日（火）の段階で募集定員に満たない場合は、応募期間を延長する場合があります。

8 選考

応募者多数の場合は、回答票をもとに受講者を選考します。（必修講座に8回以上出席できる予定の方を優先）なお、回答内容が同レベルの場合は、抽選とします。結果通知は、5月30日（火）ごろ自宅住所へ発送（郵送）します。

※万一、結果通知が6月6日（火）を過ぎても自宅に届かない場合は、下記へお知らせください。

9 提出先・問合せ先

千葉市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課 科学都市単独各班（担当：木村、木崎）

住所：〒260-8730 千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー11階

TEL：043-245-5958

FAX：043-245-5992

メール：shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp ホームページ：http://city.chiba.jp/go/scientist



よくある質問です。
参考にしてください。



Q1 どのコースとも、全ての講座に出席しなければなりませんか。

A1 どのコースとも、必修の講座は原則参加となっています。ただし、学校行事や部活動の大会などで出席できない場合は、事前にご連絡ください。閉講式の修了証書は必修講座を1ポイント、選択講座を0.5ポイントで計算し、総得点の70%以上になった人にお渡しする予定です。
※別紙年間計画に必修講座は○、選択講座は●で表記してあります。

Q2 第1希望のコース以外のコースを受講することはありますか。

A2 全員が第1希望での受講となるようにと考えていますが、受講各コースで定員を超えた応募があった場合、第2希望以下のコースを受講していただく場合がありますので、ご承知おきください。

Q3 プログラムの最後にある成果発表会では、どのような内容を発表すればよいですか。

A3 各自の研究成果をプレゼンテーションソフトを活用し口頭発表してもらいます。例年、学校で夏休みに課題となっている自由研究や課題研究をもとに内容をさらに深めて発表している場合が多いようです。なお、各自の研究を充実・深化させるため、特別セミナーを実施したり、研究相談も行ったりする予定です。

Q4 ワープロソフトなどのデータの送受信はパソコンでなく、スマートフォンや携帯電話でも大丈夫ですか。

A4 パソコンでないと支障をきたす場合が生じることが予想されます。講座の連絡、成果発表会用の発表データ・研究報告書のデータを送受信する場合がありますため、ワープロソフトおよびプレゼンテーションソフトが使用可能な環境であることが望ましいです。パソコンは本人所有でなくても、家の方のものでも結構です。

Q5 中学3年生なので受験を控えています。本プログラムに応募することはできますか。

A5 中学3年生も対象です。現時点で、全ての講座に参加できる状況でしたら、ご応募ください。なお、受験に影響が出ないように、受験生には「成果発表会」での口頭発表は免除します。成果報告書は要提出です。(高校3年も同様)

Q6 各講座で保護者は参観することはできますか。

A6 講座によっては安全面等の配慮から人数制限があり参観できない場合もあります。もし、参観を希望される場合は、事前にお問合せください。開講式、成果発表会、閉講式は、参観可能ですので、ぜひご参観ください。

Q7 「探究支援コース」について、もう少し詳しく教えてください。

A7 全11回の講座のうち4回を、研究テーマ探し、研究の進め方、論文のまとめ方など、実験や演習を通して具体的に学びます。先生方から研究について具体的なアドバイスを受けて自分のテーマの研究を進めます。研究の基礎を学び、自由研究・課題研究を頑張っ、市や県の科学論文展やその他のコンテストで、入賞をめざしたいと考えている人に適したコースです。

Q8 コースによって対象学年が違うのはどうしてですか。

A8 千葉大学連携および生命・医療系コースは、多少専門的な内容を含み、物理・化学・生物・地学といった理科の学問分野をある程度理解していることが必要と考えています。また、探究支援および市立千葉高校SSHコースは中学生限定ですので、課題研究の進め方やまとめ方、発表を意識した内容を含んでいます。

Q9 昨年度までの「未来の科学者育成プログラム」の様子や受講生の感想などを知ることができますか。

A9 昨年度までの様子は、ホームページで見ることができます。

千葉市 科学者